

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年8月2日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102548		
法人名	有限会社 サンパル		
事業所名	グループホーム 小吹ケアセンター	ユニット名	こちょうそう
所在地	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町705番地の8		
自己評価作成日	平成22年11月16日	評価結果 市町村受理日	平成23年7月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年1月19日	評価確定日	平成23年7月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>こちょうそうユニットは、入居者同士で自然に助け合って輪を広めている。 一人ひとりの個性を尊重しつつ、その日その時を楽しんでいただけるようまた、安全に過せるように個々のスタッフが意識し、気づきを大切にして支援している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所の理念をもとに、職員はユニット毎の理念を作成し、研修や日々のケアの実践に活かしている。</p> <p>管理者はユニット会議や全体会議で職員研修を行い、サービスの質の向上を図ったり、代表者会議で運営の改善に取り組むほか、年度切り替え時に職員と個別面談を行っている。</p> <p>食事は厨房で作っており、できた食事を利用者と共に配膳車でユニット毎に配り、利用者と職員は和やかに食事を楽しんでいる。</p> <p>利用者一人ひとりの嗜好に応じた食事や、行事時には外部から弁当を取ったり、家族等の協力のもと外食に出かけるほか、おやつを手作りするなど食事が楽しめるよう支援している。利用者は能力に応じてお盆を拭いたり後片付けをしている。</p> <p>職員は利用者の排泄パターンを把握し、日中は紙おむつ等を使用しないで済むよう支援するとともに、トイレでの排泄を心がけ、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホームとしての理念を掲げ、それを元に各ユニットが利用者の状況を踏まえ、各々のユニットカラーを打ち出し取り組んでいる。常日頃より職員が意識できるよう職員休憩室に掲示している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念をもとに、ユニット毎の理念を作成し職員休憩室に掲示したり、運営推進会議やユニット会議、全体会議で話し合い共有を図り実践につなげている。 管理者や職員は理念の実践に向け、散歩時に地域の人々と挨拶を交わしたり、行事等への参加協力を呼びかけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣散歩時等に積極的に挨拶を交わすように努めている。毎月1～2回、施設周辺歩道等のごみ拾いを入居者と共に行っている。また、毎年、中学生の職場体験学習の受入を実施している。	利用者は、散歩時や月1回から2回実施している事業所周辺の清掃活動を通して、地域の人々と挨拶を交わしている。 シルバー体操や琴演奏ボランティア、中学生の職場体験を受け入れるほか、幼稚園児が来訪したり、夏祭りに地域の人々や子ども会を招待し交流を図っている。 正月に地域の神社へ初詣に行くなど、職員は利用者が地域とつながりを持ちながら生活ができるよう支援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の中で認知症の方へのコミュニケーション方法等、施設内勉強会資料を配布・説明を行い、理解に結びつくよう取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価・取り組み状況の報告を踏まえ、会議メンバーより意見ももらいながら話し合い、質の向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、サービスの現状や行事、研修、身体拘束ゼロへの取り組みについて報告するとともに、委員から出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 会議に多くの参加が得られるよう、委員の選任を考慮したり、開催日時に配慮している。 欠席した委員には会議の内容を文書で報告している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	利用者状況・補助申請等の情報提供や状況確認など必要に応じ、市担当者ら連絡をとり相談・助言を受けている。	市担当者に運営推進会議に出席してもらい情報提供を受けるほか、管理者は利用状況を報告したり事業所の課題について相談している。 生活保護受給利用者について市担当者と連携し、利用者が安心して生活ができるよう支援をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアについて話し合いながら、ユニット内にも「身体拘束のない介護のための指針」ポスターを掲示し、拘束の範囲内に当てはまる事項について意識して取り組めるようにしている。また、ユニット入り口を時間帯指定ではあるが、開放の取組みを5月勉強会后より実施している。	職員は研修を通して身体拘束の弊害について理解している。 身体拘束事故防止委員会が実施した全職員へのアンケート結果を踏まえ、1階ユニットの入り口は11時から16時の間は開放している。 2階ユニットの入り口はエレベーターや階段があるため家族等の承諾を得て施錠しているが、職員は身体拘束をしないケアについて理解し、施錠をしないで済むよう検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修及び施設内研修にて学ぶ機会を確保している。虐待について、管理者はじめ職員全員が常に監視しあい事前防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修等で学ぶ機会の確保に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	解約時は事前に、契約時は契約内容説明時に利用者・家族の意見の確認作業を行い、理解・納得を得られた上で捺印行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情窓口を設けているとともに、家族が訪問された場合に利用者の状態を報告しながら、家族の意見等聴衆に努めている。利用者においても、日常的に思いを聴衆し、運営に活かしている。	家族等からは面会や電話、運営推進会議等で意見や要望を聴き、出た意見等を運営に反映させている。 重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に意見箱を設置している。 事業所便りを送付し利用者の生活状況を報告することで、家族等の意見や要望が出易くなるよう努めるほか、家族アンケートを実施し出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット間の意見や提案をユニットリーダーが取りまとめ、月一回の代表者会議で管理者へ報告している。その他、職員全体会議での職員の意見を確認する機会を確保している。	管理者は日々の記録や毎月開催するユニット会議、全体会議、代表者会議、個別面談等を利用して職員の意見や要望を聞き、運営に反映させている。 身体拘束事故防止委員会や感染予防委員会、年間行事委員会を設置することで職員の意見や提案を取り入れ、年度計画にそった研修や行事、アンケートを実施するなど、サービスの質の確保や課題改善に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の状態を踏まえた労働時間等の環境の調整の必要性を理解しており、柔軟なシフト調整の作成を勤務作成担当者に指示している。管理者等からの聞き取りにより給与水準・賞与等の整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、法人内外の研修受講できる機会を確保している。外部研修受講者は定期ミーティングを利用して報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	水戸市グループホーム協議会に加入し、協議会主催の研修会や外部研修会を通して他施設職員との交流の場の機会確保に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回相談では情報収集に気をとられず、利用者の思いを理解できるように心がけている。状況に応じ、話し合いの場を何度か持つように努めている。利用者の気持ちを理解できるように、寄り添う気持ちを心がけ接している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族がおかれている状況を理解し、家族の立場に立って気持ちを受け止め、傾聴する姿勢で接し、信頼関係が気づけるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・家族が必要としているサービスを検討し、他関連のサービス支援と連携を取りながら、安心してサービスを利用できるよう心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	表情・言動の変化に気づき、声をかけたり、利用者の立場に立って一緒に考えたり悩んだりし、良い関係を気づけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者・家族の状況を踏まえ、ケアの内容の確認や体調へ変化が見られた際には、家族へ報告し、家族と協力体制をとりながら行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会や電話連絡、手紙等でこれまでの馴染みの人との交流が継続されている。	利用者の家族や親類、友人、教え子などの訪問があるほか、月2回馴染みの理・美容師が来訪している。 職員は利用者が友人等へ手紙や年賀状を出せるよう支援し、馴染みの人と良好な関係が継続できるよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性をみて、共同スペースでの席を配慮したり、洗濯物畳みや食器のまとめなどで入居者同士で協力しながら、自然と関わり合っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、問題が予測される場合は、相談や支援に応じる姿勢であることを契約終了時に伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者・家族に生活に対する意見を聞き、それに合わせた生活ができるように支援している。	職員は、利用者との日々の係わりの中で表情や言葉から一人ひとりの思いや意向を把握し情報シートに記録するとともに、カンファレンスで話し合っている。 意向の把握が困難な利用者の場合は、家族等の面会時に意見等を聴き、職員間で話し合い、思いや希望にそった生活ができるよう利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族へこれまでの生活史や好み等の聞き取りをし、日々の生活に反映できるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者のできることを把握し、一人ひとりのペースに合わせた1日の流れを作っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族に生活に対する意見や希望を聞き取りし、月1回の会議で職員全体で検討し、作成している。	介護計画は、利用者や家族等の要望を反映させるとともに、情報シートや日々の記録をもとに毎月開催しているユニット会議や全体会議で話し合い作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを行い、設定期間毎に介護計画を見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した見直しを行い、家族等に説明のうえ確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録にて、日々の生活状態の記録をし、スタッフ間で情報把握をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時の希望に応じ、対応方法を検討し、対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現時点で活用しているケースはない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医について、利用者・家族の希望を確認し、希望に沿って入居前の関係性が継続できるよう対応している。	かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本としているが、利用者や家族等の希望により、月2回ある協力医療機関の医師による訪問診療を受診することができる。 眼科や外科等の受診は職員が付き添い、適切な医療が受けられるよう支援している。 受診結果は利用者や家族等に説明するとともに記録し、職員間で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設事業の看護師や隣接施設の看護師と連携をとっており、協力指定病院の看護師とも利用者の状況を密に相談し、指示・助言を受けながら、日々の健康管理に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>職員が定期的にお見舞いに行き、本人の病状について看護師に聞き取りをし、状況把握を行っている。また、早期退院できるよう病院より今後の方向性や受診についての説明を受け、家族・主治医とともに話し合いの場を持っている。</p>	/	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者・家族の希望を踏まえ、主治医と方針等の話し合いの場を設けながら、「できること」「できないこと」を早い段階で明確にした上で、方針等の共有に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に利用者や家族等に重度化や終末期に向けた事業所の対応方針について説明し、同意を得ている。</p> <p>職員は重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を共有するとともに、医療知識や救急法などの研修を受けているが、看取りに関するマニュアルを作成するまでには至っていない。</p>	<p>看取りに関するマニュアルを作成するとともに、マニュアルにそった研修の実施を期待する。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成し、会議等で医療講座を外部の講師の協力のもと行っている。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間計画にそり、夜間・昼間を想定しての避難訓練・消化器を使っての訓練を行っている。消防の方の指導も受けている。</p>	<p>事業所独自の避難訓練や消防署の協力を得た火災避難訓練を2ヶ月に1回実施するとともに、通報訓練や夜間を想定した避難訓練を実施している。</p> <p>消防署の指導により避難誘導方法を変更し改善している。</p> <p>避難訓練に近隣住民の参加を得たり、災害時に備えた備蓄品の準備やリストを作成するまでには至っていない。</p>	<p>近隣住民やボランティアの参加を得た避難訓練が実施できるよう取り組むことを期待する。</p> <p>災害時に備え食糧や飲料水、毛布などを備蓄するとともに、リストを作成し定期的に点検をすることが望まれる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活ペースに合わせ、自尊心を傷つけないよう言葉に注意している。	職員は入浴介助や食事介助、トイレ介助の際は言葉かけを通して利用者の自己決定を促し、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に支援をしている。 個人情報利用については家族等の同意を得るなど、取り扱いや管理に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定をしてもらうため、本人に確認をしながら行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日で何がしたいか？等確認しながら、体調面も考慮してその人にあったペースで支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望に合わせて、出張理美容をお願いしている。また、衣服においても、自分の好んだ衣類を選んでもらい、準備している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みを確認し、その人にあった食事形態を提供している。下膳については、個々でカウンターまで下げている。テーブル拭きや食器拭きも利用者自ら「やります」といわれ、職員と協同で行っている。	食事は厨房で作り配膳車で各ユニットに運び、利用者の状態に応じた食事を提供している。 職員は利用者と一緒に食事をし、言葉をかけたり献立の説明をしながら利用者のペースに合わせて、和やかに食事ができるよう支援するほか、食後の服薬や口腔ケアを実施している。 職員は利用者が食事を楽しめるようどら焼きや餃子を手作りしたり、行事食や外食を支援している。 利用者は一人ひとりの能力を活かし後片付けやお盆拭きなどを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量をチェック表に記入しており、体調管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけし、口腔ケアを行っている。介助者は、個々の能力に応じた方法で行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	確認表を活用し、個々の排泄パターンをつかみながら状況に合わせて対応し、トイレでの排泄を支援している。また、状況に応じ、おむつの種類など検討し、おむつ外しに努めている。	職員は利用者の様子からサインを察知したり、利用者一人ひとりの排泄を記録し、パターンを把握して声かけやトイレ誘導を行い、日中は紙おむつを使用せずに生活ができるよう支援している。 身体機能に応じて手を差し伸べるなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	確認表にて水分量・排泄を記入しており、状況に応じて水分を多く摂取したり、水分が多く摂れない方にはお茶ゼリーなど活用し、予防に努めている。また、体操も取り入れ行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日固定となっているが、本人の体調や気分をきき、その人のペースに合わせて入浴している。また、個人の状態に合わせて、車椅子使用している方は機械浴など、寛いだ入浴ができるよう支援している。	入浴は週3回と決まっているが、事業所では週5日入浴支援をしているため、利用者の希望や体調の変化、都合に合わせていつでも入浴ができる体制になっている。 職員は利用者と話をしたり屈伸運動をするなど、寛いで入浴ができるよう工夫をしている。 夏は毎日シャワー浴を実施するほか、併設する他事業所の機械浴槽を利用するなど、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて、休息をとっていただいている。安眠に繋がるよう、日中に体操等身体を動かす時間を作っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用・用法・用量は個人の記録ファイルに綴じてあり、常に確認できるようにしてある。職員一人ひとり理解し、変化が見られた際には医療機関と連携をとり、体調確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の居室で読書をしたり、植物の世話をしたりと、個々のペースに合わせて、リズムを大切に支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿って、外に出る機会（中庭・施設周辺）を作っている。	利用者は家族等の協力を得て定期的に出出したり外食に出かけている。 利用者は職員と一緒に事業所周辺の散歩や買い物、ドライブ、外食、初詣などに出かけるほか、中庭を利用してお茶会をしている。 気分転換やストレス解消、五感の刺激を得る機会として大洗や千波湖、愛宕山、県庁などへのドライブを支援し、利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて、小銭程度を自己管理している方もおり、施設内の売店・週1回来所するヤクルト購入も希望に沿って支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設内のPHSで外部との連絡は日常的にできるようになっている。手紙などは、スタッフがポストに投函支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご飯の炊ける匂いや、廊下・フロアなどには、利用者が描いた絵や写真などを貼っており、季節の花や飾りなど季節感を味わっていただけるような工夫をしている。	玄関には椅子や机が設置され、観葉植物が飾られているほか、利用者が自由に買い物ができるよう自動販売機や売店を設置している。 居間には利用者の手作り作品が飾られ、テレビや机、ソファ、加湿器を用意し、利用者が寛いだり居心地良く過ごせるよう配慮している。 台所は対面式となっており、職員が食事を準備している様子は利用者の食欲をそそっている。 トイレや浴室は清潔に保たれている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア・テーブル・ソファは設置されており、自由に過せるような場所を確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分が以前使用していた家具を持ち込み、使い慣れた物を部屋に配置し、使いやすいよう本人・家族と相談しながら工夫している。	契約時に利用者や家族等に使い慣れた物品を持ち込んでもらうよう説明している。 居室には時計や手作り品、整理ダンス、室内干し、机、椅子、本、辞書、日用品、鉢植えなど使い慣れた馴染みのものを配置している。 職員は利用者の習慣や希望、状態に応じて畳やベッドを使い分けるなど、利用者が安心して暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが、ホーム内が分かるよう目印を付けたり、自室が分かるようにしている。手すりに設置もあり、安全に歩行できるよう対応している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 小吹ケアセンター

作成日 平成23年7月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災避難訓練は火災・地震を想定したものと、その他通報・総合訓練を含め年6回の実施をしているが、地域を巻き込んだ内容の訓練を実施できていない。	非常災害対策として、近隣住民等、地域との連携を図る	①運営推進会議等で地域への協力要請内容を検討。また、構成メンバーの方に防災訓練への参加をしていただきながら、近隣住民への訓練への参加を求めていく。	12ヶ月
2	33	重度化においては、事業所の方針を共有しつつあるが、終末期においては、マニュアル作成までにいたっていない。	方針を明確にし現時点での最大限の重度化や終末期におけるサービスの提供ができる。	①重度化・終末期に関する具体的なマニュアルの作成。 ②マニュアルに沿った研修の実施 ③協力病院との連携強化、往診医師の充実を図る	24ヶ月
3	2				
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。